(外国	国語))科(英詞	五 百) シラバス	4 単位	普通科 第	第 2 学年	1~4組			
	1	幅戊	い話題につ	いて、聞い	たことや読んだことを	E理解するこ	とができる	る。				
年間の到達目標 2 幅広い話題について、情報や考えなどを英語で話			舌したり書い	たりしてイ	伝えること	:ができる。						
	3	3 幅広	い話題につ	いて、積極	的にコミュニケーショ	ョンを図ろう	とするこ	とができる) o			
教科書・副教材等 Power On English I (英 039) (東京書籍) ・VITAL3000 英単語・熟語(文英堂)												
学月	4X-1/3 (3.	1 ower c	刘 Ding ii shi - 1 学 習	•	2) (水水自相) VII		<u>и уши (</u>		 学習のねらい			
Le	esson 1 W	hat Day	Is Today? #	界の暦	. **	西洋、イス	スラム諸国]、アジア	諸国の暦につ	いて学び、その	の成り立ちや	
			E表す接続詞 			起源につい <u>関係副詞/</u>	理由を表	す接続詞/	<u>名詞 + S + V</u>	⊻の事項を復習	する。	
			ı Like a Cup o ī/S + seem(s		きの歴史と効用	現在ブー <i>I</i> を学び、6				いて学ぶ。さら	らにその効用	
S	+ V + ()[= if /	whether で始ま	まる節]		It is said + S + V + (現に慣れる。		
	中間考査範囲 Lesson1, Lesson2 Lesson 3 Okinawa A Cultural Crossroads in Japan チャンプルー文化 沖縄の地理的、歴史的、文化的側面について学ぶ。さらに文化の十字											
6 S	+ V[=知	覚動詞		動詞の原用	彡]៌ 仮定法過去 /	路としての)沖縄につ	いて考える	させる。	/ 仮定法過去 /		
					- 	過去完了近	≛行形/ S̄-	+ V + O +	· C[=過去分	/	を理解する	
7 分	·詞構文(現在分	詞)/ 分詞構ゞ	7(過去分詞		話を読んで	で、自分た	ちの夢に	ついて考える) _o		
				太/)1系1てる	名詞 who の非制限用法					/ 関係代名詞 wh の文法事項を		
期末考査範囲 Lesson3, Lesson4 「備考〕 評価配分 中間考査・期末考査 70%												
平常点(授業の出席、言語活動、小テスト、課題、ワークシート、 <u>単語テスト[VITAL3000]</u>) 30%												
9 Le	eading1 (Going H Lesson4	ome 幸福の黄 の学習内容の	(色いハン) の復習	カチ	日本でも既を読む楽し			の黄色いハン	/カチ』を読み、	英語で小説	
Le	sson5 N	o Free L	unch インタ	- ネットの	歴史と功罪 vhen の非制限用法 /	インター	マットの歴	史、現在	の状況、危険 ついて考える	後性について学で 、	び、それを利	
			/ 未来進行形			関係副詞、	where の非	制限用法/	関係副詞 wh	en の非制限用法	<u> </u>	
			g1 ,Lesson5	==						りを理解する。 		
11 形	式目的記	与it[=to		[=使役動詞	迵]+O+C[=動詞の原形	/ 形式目的訂	吾 it[=to 不	定詞]/S+V	[=使役動詞]	まについて学ぶ。 +O+C[=動詞の♪	原形]/	
<u>否</u>	定を表す sson 8 Can	「形容詞 ada A]・副詞 / as_ Dynamic Mosaic	i <u>f +仮定法〕</u> of Multicultur	<u>過去</u> alism 他民族・他文化国家	_ 否定を表す : 地理的、歴	「形容詞・ ₹史的、民	<u>副詞 / as i</u> 族的、言	if +仮定法過 語的側面から	去 の形と使い7 カナダ社会に1	<u>うに慣れる。</u> ついて学び、	
12 比	較の程度 式目的記	₹ / S+V	$'+O_1+O_2$ [=if/w	hether 節]	/ 完了不定詞 /	カナダが多				うことについて ^ま 完了不定詞 /	考える。	
	形式目的語[=that 節] 比較の程度 / S+V+O1+O2[=if/whether 節] / 完了不定詞 / 形式目的語[=that 節] の形に慣れ、理解する。											
〔備考〕 評価配分 中間考査・期末考査 70% 平常点(授業の出席、言語活動、小テスト、課題、ワークシート、単語テスト[VITAL3000]) 30%												
中市点(投業の山市、言語/四割、小アスト、味趣、ソーソシート、実頭ノス广(VITALS000)) 3 0 % Lesson 9 Mottainai: A Message from Africa アフリカ人女性として初めてノーベル平和賞を受賞したワンガリ・マータイさん												
1 ケ	ニアの環境	竟活動家	ワンガリ・マ-	-タイさん	置詞+関係代名詞	について読む	み、「もった	:いない」の	意味と環境保護	護について考える。 詞+関係代名詞		
			s It Was and I			の形に慣れ	1、文法項	目を理解す	する。	アメリカ英語で	でぬい がきこ	
2 S ₁	+wish+S ₂	+過去飛			過去と現在 の制限用法 /	理由などに	こついて学	び、今後	英語がどう変	をわっていくか す		
	歩を表す	次况							名詞 whose の 文法項目を			
			ast Leaf 最後			0.ヘシリー	- の短編。	==-=	- クのグリニ	ッジビレッジ	こ住む芸術家	
	しようと	する			ち、積極的に理解	スーとジョ について*		こついての	話を読み、新	見切心や生きるる	ことの大切さ	
学年末考査範囲 Lesson9, Lesson10, Reading [備考] 評価配分 中間考査・期末考査 70%												
平常点(授業の出席、言語活動、小テスト、課題、ワークシート、 <u>単語テスト[VITAL3000]</u>) 30% 学年末評価 (1学期末評価 + 2学期末評価 + 3学期末評価) ÷ 3												
 評価の観点			Р	图 容					平 価 方 法			
関心 意欲		ュニケ	ーションに関	心を持ち、	積極的に言語活動を	・学習ノ	/ -		・ワークシー	·		
態度 (25)%	行い	\ \ \ \ \ \	ュニケーショ	ンを図る	うとしている	・出席を				言語活動、発表	長など)	
		かか	晒について		 えなど伝えたいことを				・ワークシー	. k		
表現の能力	英語				えなと伝えたいことを 見することができる	・定期を・課題を	スト		・課題	•	丰 +、 1 ° 、	
(25)% 理解の	・日常				\たり読んだりして、	<u>・小テス</u> ・課題ラ	-スト		・課題	(言語活動、発		
能力 (25)%	とが	出来る			することを理解する。		•			(言語活動、発 	表など)	
知識理解	・日常 その	的な話. 運用に	題についての ついての知言	英語の学習 戦を身につ	習を通して、言語や けると共に、その背景	・定期を	_ <u></u> 音査 ラスト		・ワークシ <i>ー</i> ・課題			
(25)%	にあ		などを理解し			・小デ				(言語活動、発	表など)	
		w +z = -	=====================================									
1 年次	〔担当者からのメッセージ〕 1年次に養った基本を踏まえた上で、英語の総合力をさらに伸ばしていきます。 - 今年も皆さんのしっかりとした取り組みを期待しています。											
)	今年も皆さんのしっかりとした取り組みを期待しています。											